

世界一の歴史を誇るジャズ・ビッグバンドの名門

デューク・エリントン・オーケストラ

ジャパンツアー2011



Duke Ellington Orchestra

Japan Tour 2011



煌きのニューヨークへ
「A列車で行こう」、「キャラバン」、「サテン・ドール」など

2011 **7/15** 金 19:00開演(18:30開場) **サントリーホール**
SY8,000 AY6,500 BY5,000(全席指定・税込)

主催・招聘・企画制作: Harmony Japan
後援: アメリカ大使館/キングレコード株式会社/jazzlife/ヤマハミュージック東京 銀座店/株式会社 山野楽器/山野楽器ビッグバンド・ジャズ・コンテスト実行委員会
協力: サンライズプロモーション東京

- チケット販売**
- Harmony Japan 03-3409-3345
 - サンライズプロモーション東京 0570-00-3337
 - サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999
 - ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード 30059) / 0570-000-407 [オペレーター対応]
 - テイクワン 0570-02-9999 (Pコード 132-372)
 - CNプレイガイド 0570-08-9999 [オペレーター対応]
 - e+ イープラス <http://eplus.jp>
 - 楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp>
 - JTB店頭、JTBエンタメチケットデスク 0570-030311 [オペレーター対応]

お問合わせ **Harmony Japan 03-3409-3345** <http://www.harmonyjapan.com/>

※出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。 ※未就学のお子様のご入場はお断りさせていただきます。 ※車椅子席をご希望の場合には、ハーモニージャパンまでお問い合わせください。

チケット発売開始!
2011 3/26 10:00

世界一の歴史を誇るジャズ・ビッグバンドの名門

デューク・エリントン・オーケストラ

デューク・エリントンは、1899年、ワシントンD.C.の黒人上層階級に生まれた。1927年、伝説的なナイト・スポット、コットンクラブと専属契約を結び独自のサウンドを創造して、ラジオ中継などを通して全世界の大注目を浴びた。1931年からアメリカ国内でツアー活動を開始。「スイングしなげりや意味ないね」でヒットを飛ばす。クーティー・ウィリアムズ、ジョニー・ホッジスら綺羅星のようなメンバーが揃い、1940年代にはさらに、ピリー・ストレイホーンやベン・ウェブスターが入団してデュークの理想のバンドが完成した。楽団テーマ曲である「A列車で行こう」が生まれたのもこの時代である。1956年、ニューポート・ジャズ・フェスティバルに出演したエリントン楽団は、モダンに進化した音楽性で観客を魅了した。その後、60年代は映画音楽『Anatomy of a Murder』でグラミー賞を獲得、フランク・シナトラとの共演作品、さらに世界各国をツアーし、『極東組曲』をはじめとする各地の印象をつづった組曲などでエリントン・サウンドの表現領域を拡大していった。エリントンの死後も、実子マーサー、孫ポールへと引継がれた彼のジャズ・スピリットと名曲の数々は、現在もお輝きを放ち続けている。



“今”のエリントン楽団を聴いて欲しい...

私がシャープス&フラッツを結成した時の憧れの的であり、目標にしたバンドこそ、エリントン楽団でした。当時、グレン・ミラーやベニー・グッドマンといった沢山のスウィングバンドはありましたが、いわゆる“リアルジャズ”と言えるのは、デューク・エリントン楽団なのです。私たちジャズプレイヤーにとって、デューク・エリントンは、「ジャズの神様」であり、エリントン楽団を聴けば、ジャズの歴史を彷彿させます。ぜひ、“今”のエリントン楽団を聴いて欲しいですね。あの当時のエリントン・サウンドが戻ってきましたから!

原 信夫 Nobuo Hara
●シャープス&フラッツ リーダー

エリントンの魅力は“曲”の素晴らしさ...

エリントン楽団は、カウント・ベイシー楽団と双璧をなす、偉大なビッグバンドです。エリントンの魅力は、とにかく“曲”の素晴らしさです。メロディが美しく、オーケストレーションが独特で、とても深みがあるんです。「A列車で行こう」はその最たるものですね。ジャズの初心者も、聴き込んだ人も楽しめる音楽です。時代を超えて今なお新しい名曲の数々を、ぜひ聴きにきて頂きたいですね。

瀬川 昌久 Masahisa Segawa ●ジャズ評論家

Japan Tour Schedule

- 7.9 大阪 ザ・シンフォニーホール
- 7.10 山口 シンフォニア岩国 コンサートホール
- 7.14 三重 四日市市文化会館 第一ホール
- 7.15 東京 サントリーホール
- 7.16 東京 江戸川区総合文化センター 大ホール
- 7.18 愛知 愛知県芸術劇場 大ホール
- 7.20 埼玉 鴻巣市文化センター 大ホール
- 7.21 埼玉 草加市文化会館ホール
- 7.22 静岡 アクトシティ浜松 中ホール
- 7.24 鹿児島 薩摩川内市川内文化ホール

名曲の数々を、たっぷりお贈りします。 「A列車で行こう」

● 楽団テーマ曲として広く知られる、世界的な名曲となった軽快なミディアムテンポのナンバー。「ジャズを楽しめるハーレムに行くなら、速く行ける“A”看板の電車にお乗りなさい」という意味がある。今年でレコード発売から70年目を迎える。

「キャラバン」

● アフロ・キューバン・ジャズの代名詞といえる曲。非西洋の音階を取り入れたメロディーがエキゾチックな世界へと誘う。今もジャズ分野にかぎらず多くのアーティストによって演奏される。

「サテン・ドール」

● 1953年に生まれた可憐なメロディーの曲で、その後、男女が恋の駆け引きをする内容の歌詞が付けられた。多くの女性シンガーに歌われるスタンダードナンバーになった。

「イン・ア・センチメンタル・ムード」

● 美しい旋律のスロー・バラード。当時、作曲したこの曲を、デューク本人がピアノで弾いて2人の女性の仲直りを手助けた、というエピソードがある。

※曲目は変更になる可能性がございます。

公演に関するお問合せ ▶ ハーモニー・ジャパン TEL.03-3409-3345 <http://www.harmonyjapan.com/>



ビッグ・バンド新時代の狼煙。大迫力でデュークのサウンドがよみがえる。名門デューク・エリントン・オーケストラ第三世代突入。デュークの名曲を当時のオリジナル・アレンジで最新録音。

デューク・エリントン・オーケストラ サード・ジェネレーション

～ダイナミック・サウンド・オブ・デューク・エリントン～

A列車で行こう/黒と茶の幻想/キャラバン/コットン・クラブ・ストンプ/ドゥー・ナッシン・ティル・ユー・ヒア・フロム・ミー/イン・ア・メロウトーン/ムード・インディゴ/サテン・ドール/イン・ア・センチメンタル・ムード/ジャスト・スクイーズ・ミー/ザ・ムーチ/昔は良かったね/全12曲収録

特別価格 ¥1,500 ●KICJ571 ●2009年6月2日 NY録音 KING RECORDS